

事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

| | | | | | | | | | |
|------|------------------------|------|---|--------------|-----|------|------|-----|--|
| 政策 | 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実 | | | | | | | | |
| 施策 | 03 青少年健全育成の推進 | | | | | | | | |
| 基本事業 | 01 青少年健全育成活動の充実 | | | | | | | | |
| 開始年度 | 昭和43年度 | 終了年度 | — | 実施計画 事業認定 | 非対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 | |

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小学校4年生から中学校3年生の児童・生徒

手段（事務事業の内容、やり方）

自然体験事業として日常生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を開設し1泊2日の日程で、大学生、高校生のボランティアサークルのリーダーの指導によりキャンプを行う。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

野外生活、集団生活の楽しさ、規律のある生活態度・生活術を学ぶとともに異年齢の交流から子どもたちの協調性、社会性を高める。

指標・事業費の推移

| 区分 | | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
|-----------|----------------------------|------|--------|--------|--------|--------|
| 対象指標1 | 市内の小学校4年生から中学校3年生の児童および生徒数 | 人 | 7,428 | 7,326 | 7,095 | 6,998 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | キャンプ村開催日数 | 日 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 参加グループ数 | グループ | 98 | 121 | 121 | 125 |
| 成果指標2 | 青少年キャンプ村参加人数 | 人 | 536 | 686 | 698 | 700 |
| 事業費(A) | | 千円 | 826 | 821 | 821 | 874 |
| 正職員人件費(B) | | 千円 | 2,007 | 2,004 | 1,953 | 1,956 |
| 総事業費(A+B) | | 千円 | 2,833 | 2,825 | 2,774 | 2,830 |

| | 事業内容（主なもの） | 費用内訳（主なもの） |
|------|--|-------------------------------|
| 25年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・8月5日～10日に江別市森林キャンプ場において、青少年キャンプ村を開催した ・高大生のボランティアサークルのリーダーによる指導のもと、炊飯、キャンプファイヤー、ナイトウォークなどの体験、交流事業を展開した | 生活指導員謝礼 336千円 テント購入費 405千円 |

| | |
|--|--|
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 事業開始背景 | |
| 昭和43年開始 | |
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 江別市の子どもたちにとって、野外生活の楽しさを感じるとともに、集団生活による協調性を習得する貴重な機会となっている。 募集方法の工夫などにより、年々参加者が増加している。 | |

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

| | | |
|--------|----------|--|
| 妥当である | 理由 根拠 | 夏休みの自然体験事業として、子どもと保護者の関心、期待が高く、少子化の中参加者の減少もなく健全育成事業として妥当である。 |
| 妥当性が低い | | |

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

| | | |
|---------|----------|--|
| 貢献度大きい | 理由 根拠 | 1泊2日の宿泊を通し、青少年サークル（ボランティア）の指導のもと、体験学習や団体生活、異年齢との交流を図り、子ども達の豊かな人間性・社会性づくりに貢献している。 |
| 貢献度ふつう | | |
| 貢献度小さい | | |
| 基礎的事務事業 | | |

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

| | | |
|----------------|----------|---|
| 上がっている | 理由 根拠 | 参加児童・生徒及び保護者の満足度は高く、青少年の交流の場としての成果が大きい。 |
| どちらかといえば上がっている | | |
| 上がらない | | |

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

| | | |
|-------------|----------|--|
| 成果向上余地 大 | 理由 根拠 | 道立野幌森林公園を後背地にしたキャンプ場であるため、森林公園の特性を利用した自然とのふれあい、体験学習等の活動プログラムを充実させる余地がある。 |
| 成果向上余地 中 | | |
| 成果向上余地 小・なし | | |

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？

| | | |
|----|----------|--|
| ある | 理由 根拠 | 関係団体等への補助や委託などで職員人件費等は十分に圧縮されており、ボランティア団体への報償費および賄材料費の削減はこれ以上困難であるため、削減の余地はない。 |
| なし | | |